

1. 件名：東海再処理施設の廃止措置計画に係る面談
2. 日時：令和4年10月5日（水）13時30分～14時15分
3. 場所：原子力規制庁10階会議室 ※一部出席者はTV会議にて実施
4. 出席者
原子力規制庁
原子力規制部
審査グループ 研究炉等審査部門
細野安全管理調査官、上野管理官補佐、有吉上席安全審査官、小舞管理官補佐、
加藤原子力規制専門員
検査グループ 核燃料施設等監視部門
栗崎企画調査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
バックエンド統括本部 バックエンド推進部 次長
安全・核セキュリティ統括本部 安全管理部 施設保安管理課 主査
再処理廃止措置技術開発センター 副センター長 他9名
5. 自動文字起こし結果
別紙のとおり
※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
6. 配付資料
資料1 ガラス固化処理の進捗状況について
資料2 工程洗浄（Pu 溶液の取出し）に係る準備状況及び今後の予定について
資料3 質量分析装置の更新について
資料4 東海再処理施設の廃止措置等に係る面談スケジュール（案）

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	はい、原子力規制庁の加藤です。それでは本日の面談始めさせていただきますと思います。では早速、お送りいただいた資料に基づきまして減少機構の方からご説明をお願いいたします。
0:00:14	はい、原子力モリカワです。資料1、ガラス固化処理の進捗状況ということで今回の運転22-1のキャンペーンの終了についてということでご報告させていただきます資料2ページ目になります。
0:00:29	1ポツ、概要についてです。今回の運転については8月28日に23本目の流下開始今への応用の支援強化の補正抵抗、これが管理者に達したことから、
0:00:42	運転停止操作とレイアウト操作に移行し、9月1日による電源をダウンとしてますその後、
0:00:50	溶融炉の冷却期間を経て9月18日から16日かけ栄養内部の観察を行い、炉底部にガラスが残留していることを確認しました。
0:00:59	炉内観察結果を踏まえ、2号炉の運転を継続するためにはこの残留したガラスの除去が必要と判断したことから本日、
0:01:07	今回の運転ですね、22-1のキャンペーンは本日をもって終了することをしております。
0:01:14	2ポツ、炉内の観察結果です。I T Vカメラを夜に挿入して、いろいろな観察した結果、前回の運転、こちら21-1のキャンペーンです。
0:01:25	これと同様に、西側の提携斜面上部にガラスが残留していること。
0:01:30	また、南北の主電極の上部及び東西の壁面にもガラスが断線を確認しております。
0:01:37	この残留ガラス量につきましては、溶融炉への小原柘植の供給量の蓋し量の収支から、約28キロと推定しております。
0:01:47	その後過去の観察の結果との比較から、前回の運転の21日のキャンペーンでこの後にも、南北の主電極の上部にガラスが残留していることを確認しているところでございます。
0:02:02	なお応用運転営業部のレンガの欠けや凹凸等については効果のI Pカメラの観察においては確認されなかったということでございます。
0:02:12	3ポツとして今回の運転2020日のキャンペーンについてということで、自然局間の補正抵抗の低下、これは主に西側の提携斜面上部の残留ガラス、こちらは白金族濃度が高いと。
0:02:26	推定しております、これによって抵抗が低くなっていると。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:30	この残留ガラスを通じて燃料が流れたものというふうに推定しております。
0:02:36	また、南北主電極の上部に残留するガラスについては、現状では自然教科補正抵抗値の低下への影響を否定できないと。
0:02:45	いうふうに今考えております。これらの状況から、
0:02:48	2号溶融炉で運転を継続するためには、この残留ガラスを除去する必要があると判断し、10月と5日、本日をもって今回の運転22-1のキャンペーンを終了しております。
0:02:59	3ページ目、今後の対応についてです。
0:03:03	次回の運転につきましては、
0:03:05	今回の結果を踏まえて、3号溶融炉への更新を軸に、最短スケジュールを検討すると。
0:03:12	いうことでこの中で、2号炉の今回の残留してるガラス、これを除去を行って、
0:03:19	今回のキャンペーンと同程度のガラス固化体を製造することを製造を継続することも検討していきたいと考えています。
0:03:28	あと並行して運転データ及び炉内観察の結果を踏まえ、前回の運転と同様の位置に、予想よりも早く白金族堆積するに至った原因を調査し、
0:03:38	次回以降の運転に反映したいというふうに考えております。
0:03:42	資料の4ページ目、
0:03:44	炉内観察結果ということで、
0:03:47	真ん中上の写真ですねこちら真ん中黄色で旋回というところ傾斜部のところを様子見から線を引っ張ってるところと、
0:03:58	傾斜部等を垂直部の境のところに視覚黄色線を引いてます。
0:04:04	青の点線で囲ってるところこれがは残留してるガラスってことで、底部ノズルの上部辺りと、
0:04:11	西側の傾斜面上部にアオノ訂正を図っています。これ前回と同様の位置にガラスが対残留するという状況でございます。
0:04:20	それ以外ピンクで囲ってるところ、こちらにつきましては、垂直部ですね、のところということで、自然局の上部北と南側、これ自然局電極の上部ですね、上面に残留してるガラスが確認されてるということ。
0:04:36	あとは東西、これは壁面垂直部の壁面、こちらにも残留シールガスが確認されているということ。
0:04:42	下側の平面図と断面図で書いてありますが、小野瀬ハッチングしてる箇所が先ほど言いました、前回同様の位置に残留してるからちょうど真ん

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	中のところは補助電極ですね、予定にありますので全国の方1ぐらいにガラスまでガラスがたまってる状況。
0:05:03	喜多日電極と南守電工ちょうど残留ガラスが、をパスしてるような感じに残留してるってことでここが自然許可の補正抵抗の低下の要因ではないかというふうに考えております。
0:05:21	垂直部につきましては、自然局の上、また垂直ですね、自然局1ぐらいのところに、残留するガラスが確認されてるってこと。
0:05:30	こちらにつきましても抵抗低下を否定できないということでこれらのガラスについて、残除去が必要というふうに考えております。
0:05:40	5ページ目、これが前回10期21-1のキャンペーンの後の炉内観察結果ということで先ほどのように、
0:05:48	炉の真ん中西側のK斜面上部に同じような堆積が確認されていたというところでございます。
0:05:57	詳細な写真が6ページ目。
0:06:00	ちょっと見づらんですがこちら西側の垂直部、西側壁面の垂直部。
0:06:07	2Aと、小野瀬点線で囲っているところは傾斜面上部の位置でそこから上垂直部になります。
0:06:15	点線で1点斜線で書いてる場所、これはガラスのろうレベルとハイレベルってということで、3本ガラスがたまると、ガラス液面肺の1、
0:06:26	1本流下するとガラス液面ロード1ということでこの間で、ガラスの液面が変動してると。
0:06:32	ちょうど1本抜いた通り、2Eが垂直部にガラス残留物が確認されているというような状況でございます。
0:06:41	7ページ目、こちらが21日のキャンペーンの炉内観察結果という過去のちょっと資料をデータ整理したものです。過去の21のキャンペーン後の、
0:06:53	残留ガラスの状況においても大北の主電極の上部、表面、あと南野清久野状面に残留ガラスがあるってことで日のキャンペーン1、
0:07:04	からすでにここにガラスが残留してるんじゃないかというような形で今想定してるところでございます。これを踏まえまして今後、
0:07:12	これの堆積した原因調査を進めていきたいというふうに考えております。説明以上となります。
0:07:19	はい。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして原子力規制庁から確認。
0:07:26	コメント等ありましたらお願いします。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:31	植野です 7 ページで前回キャンペーンで、
0:07:37	電極の上部に
0:07:39	残留物があつたと、いうことなんですけど。
0:07:43	ここは
0:07:46	今回のキャンペーンを始める前に、はつりの対象ではあつたのかなかつたのかっていうことを教えてもらえますか。
0:07:55	はい。現状モリカワ、ここの部分については、前回、基本的には自然局の方より下側を中心に観察して、
0:08:07	あそこにあつた西側の提携斜面上部等、労働底の部分のガラスを、を基本的に除去するというので、この電極の上部については、前回、
0:08:20	除去していなかったというところです。
0:08:23	判断の中にもここのところまで、結局するっていうところは考えておりませんでしたので、今回改めて確認したところ、ここの部分にも、まだ西出クラスが 21 年キャンペーンの観察結果からあつたっていうことが今回わかつたということでございます。
0:08:41	はい。そう。そうすると
0:08:45	6 ページで示してる
0:08:49	こっちは、
0:08:52	6 ページじゃないですか。
0:08:58	4 ページ、4 ページですか、4 ページで示してる。
0:09:03	主電極の所、上部にたまってる残留ガラスっていうのは、
0:09:09	今回の運転でたまつたものなのか、前回、以前よりは
0:09:15	出たものなのかつたっていうところはそこはわからないってことですかね。
0:09:20	はい。そうですね。限界利益のキャンペーンからあつたというのが事実があつたので、そこら辺からあつたものであるとは思ってますが、今回のこの
0:09:31	4 ページで書いてるようなところを、全体が今回、溜まつたのか一部なのかつたっていうところ、ここはちょっと少し今後調べていく必要があるかと思っております。はい、わかりました。
0:09:49	すみませんが菅栗崎です。一つよろしいでしょうか。
0:09:53	お願いします。
0:09:56	すいませんこの上部の 4 ページだとピンク色で止めていただいたところなんですけど、
0:10:03	現実的にこの辺ってハツリをってあるんですかね。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:09	今の降雨については、除去装置の降雨については、当然、電極パターン。
0:10:19	ガラスの下をはつるような形で、
0:10:23	少し神戸線呈してるところがありますんで、取り合いを少し変えれば、日電極の上面部辺りも外れるんじゃないかというふうには考えておりました今そこら辺センターコールですね、
0:10:38	福社会場が必要かどうか、そういうところを少し検討してるところでございます。以上です。
0:10:44	はい、栗崎ですわかりました。ありがとうございます
0:10:49	原子力規制庁の加藤ですけれども、
0:10:53	このガラスのその上部にたまってるから部分を見るとろう岩石画廊の12。
0:11:01	とたまってるような傾向が見られると思うんですが、
0:11:05	この絵と、通常運転尖ら数の液面がローになっている時間というのは大体どのくらいの時間なってるものなんでしょうか。
0:11:17	ですねこのろうから肺に至るまでが、大体流カーしてる以外のために大体40時間から46時間ぐらいで、
0:11:30	ろうから範囲にガラス液面が変わっていくというような、
0:11:35	状況ですので、
0:11:38	そうですね聾の一位老々近辺っていうのは大体
0:11:43	3、三、四時間と数時間ぐらい、これを変動しながらだんだんと上の範囲の位置に増えていく、液面が上がっていくっていうそんな状況かというふうに思っております。以上です。
0:11:57	規制庁加藤ですわかりました。ちなみに多分前回のキャンペーンとかで個人運転、結構やってると思うんですけど、保持運転時っていうのは、
0:12:07	範囲は乾知なんですかね大体基本、基本的には、
0:12:12	結局、個人運転に入るときは、どの位置まで1本抜いて、それで
0:12:21	少し温度を下げ、工事運転に入るという形になります。で、それ以外ですね、前回流下停止とか、
0:12:30	そういう時はその途中で液がたま止まった段階で、流下止まっちゃってるその時点で少し月にしたりとかってのありましたけど、
0:12:41	いわゆるその個人運転っていったって数日、当時、運転する場合はロード1まで1本抜いた状態で、
0:12:49	温度下げて工事に入るとそういうような運転の仕方しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:56	加藤ですわかりましたありがとうございます。
0:13:03	唐木K長からよろしいでしょうか。
0:13:10	はい。こちらも引き続き、原因調査の結果等
0:13:15	適宜ご報告いただければと思います。
0:13:18	続きまして資料の2のご説明をお願いします。
0:13:24	はい。それでは資料2のご説明しをしたいと思います前処理施設課の仲村です。工程洗浄に係る準備状況及び今後の予定ということで、こちらの9月14日に、せん断粉末の取り出しの終了の面談の際にプールの取り出しを、
0:13:38	2月中旬から行う旨をご説明いたしました。本日はスケジュールと、現在の準備状況についてまとめましたので、報告させていただきます。まず概要ですけれども、
0:13:49	せん断粉末の取り出し後9月中よりもより不利益の取り出しの準備を行って参りました定点設備点検教育等の訓練の準備作業等を、
0:13:59	12月上旬までに終了させる見込みです。
0:14:02	プルーム取り出しについては、前も話しましたが、各部所時在庫調査、2月頭に予定されておりますその終了後に、2月中旬から開始しまして6月下旬にする、する計画ということで現在、
0:14:16	関係箇所と調整中です。
0:14:19	内容の方ですけれども、2ポツのポリ容器の取り出し及び準備状況ということ、及び今後の予定ということで、まず、設備点検等の準備状況になりますけれども、
0:14:29	すでに令和4年2月から7月の間にの期間に対象設備264件に対し約は数の127基については点検整備を終了しております。
0:14:39	これらの点検設備を、点検整備実績を踏まえて残りの3、37期については、約2ヶ月程度の期間でできるだろうという見通しを持っております。
0:14:49	10月3日現在では約170基、全体の665%の点検をすでに終了しておりますして引き続き、設備点検、
0:14:59	計装計器の校正とか損益装置の作動確認等を11月中旬までに実施するという予定にしていますまた、
0:15:07	V e s s e l系ベーションというより町村層厚線ですね、そういったものを実施しまして、準備作業準備作業全体を12月上旬までに終了する予定にしております。．次のページ、
0:15:18	9ページ目をご覧ください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:21	こちらは、プルトニウム取り出しに関わる主要な設備になります。
0:15:28	右上に先ほどオオブ所をすぐご説明した設備点検の対象を示しております。槽類計装計器損益装置サンプル池或いはバルブ家ということで、
0:15:38	トータル 264 基を対象としておりましてそのうちの約半分終わっております。点検項目のMEの方にしてございます。
0:15:47	例えば槽類であれば、直接見れないものについてはドリフトレイの損益装置とか、漏えい検知の作動確認等を実施すると。
0:15:53	秋、
0:15:54	総経費としては剛性作動確認の応答を行っております。
0:15:59	それで、残り 137 ということでこちらを点検いたします。
0:16:03	ここを流れになりますけども、こちらに主要工程の流れを示してございます。オレンジ色のハッチングしてる部分につきましては、すでに実施、点検を実施しているところ。
0:16:14	色がついてないところは今後実施するところになります。
0:16:17	右図の右の方になりますと、こちら、高放射性廃液貯蔵場に持ってきますんでせん断粉末の取り出しルートと一部、共通の部分がございます。これはもうすでに、実際に損益しておりまして問題ないことを確認してございます。それ以外の部分について点検を実施しております。
0:16:39	はい。続いて、前のページ 8 ページ目、戻らせていただきます。
0:16:44	プレートの運用益の取り出し開始時期ということで
0:16:48	添付 2 の方にスケジュールの方を示してございます。
0:16:51	2 ページ目をご覧ください。
0:16:59	1 ページ目のステージの方なんですけども、先ほどご説明しました
0:17:04	両括弧 2 番の低濃度の教育と利益の準備ということで設備点検を今年の 2 月末まで実施しましてさらに 9 月中旬から再開しております。
0:17:15	す、設備点検が終わりました層厚性と言われる先ほどお話しました v e s s e l キャリブレーションというものを実施する予定しております。これはちょっと対応設備については笹勝野佐々津川と現在調整中となっております。
0:17:28	その間ですね、教育訓練を並行してやりまして、最終的にその教育も含めた準備完了というのが 12 月上旬を予定しております。
0:17:41	文章の方でまたご説明しますけれども、今、取り出し期間につきましては 2 月の中旬 5 開始を予定しておりまして、その間については、習熟度の向上とか、或いはウラン溶液の
0:17:53	設備点検の前倒しとか、そういったものを検討してございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:56	とりあえず提案としては2月中旬から3月末にかけて、利益そのものを取り出し、それ以降を令和5年に入りまして、
0:18:06	そのあとのお知らせ以上を予定しております。
0:18:13	じゃ本部の方もさせていただきます。
0:18:17	予算の
0:18:19	よかった学校には不利益の取り出し開始時期ですけども、不利益の取り出しについては、準備家が加入するのは12月上旬となりますけれども、2月に年1回の
0:18:30	核物質の時在庫調査が予定されており、12月から開始してしまうと、途中で
0:18:37	P I Dのための核物質の集約に伴って、浅井洗浄という操作が入ります。それと、取り出し期間が長期化をし洗浄約1.5ヶ月、在庫確認約1ヶ月が必要となることから、また、
0:18:49	斜線常時入り発生しますんで、そういったことから
0:18:53	J Tの2月中旬から取り出しを開始する計画で、関係課と調整を進めているところです。
0:19:01	先ほど話したようにその間につきましては、安定したプレ要件取り出しに向けた習熟度向上のための訓練、或いはU-DASH施設、
0:19:11	ウラン、
0:19:12	私としてに関わる設備点検を前倒しで実施する等を、作業を行いまして、全体として、令和5年度内に終了する準備を進めていきたいと思えます。
0:19:27	部長の方は10ページ目のステージの方で記載してる内容でございます。
0:19:31	今後はこの規定に従って点検整備を行っていきたいと思っております。
0:19:37	説明は簡単ですが以上になります。
0:19:41	はい。形状カトウです。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、質問等ありましたらお願いします。
0:20:09	加来栗崎です。よろしいでしょうか。はい。お願いします。
0:20:15	はい。すいません。計画は概ね多かったですけれども、これ槽類をまだ、点検、何だろう、9ページかな。
0:20:25	槽類はまだ実績0点検の実績0っていうのがあるんですけども、
0:20:30	構成とかそういう総合性、情報の構成とかそういったところと一気にやりたいからこれまだまとめにしてるとい事情なんですかね、そういう理解でよろしいですか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:49	原子力機構のオオブです。
0:20:51	それについては、定期的ですね、線量が高くて入れないところはちょっと
0:21:00	ホソノれてないかっていうことを選ぶ。セルの漏えい検知装置等で確認するんですが、基本ここは過去に、はい。
0:21:10	定期的にセルに入って健全性確認してますんで、その結果は問題ないなっていうことの記録を確認するっていう形で進める予定にしております。
0:21:24	その章構成とはちょっと違う話になってまして層厚性というのは、
0:21:31	古殿を計上する際に、その液量を確定するのに、
0:21:37	貯槽に水を張ってですね、正確な液位計をちょっとつけて、基部の在庫量を確定させるための操作となっております、
0:21:50	こういう槽類の点検と層構成がちょっと違った意味合いになってきます。
0:21:56	ここ。うん。
0:21:58	延期されてるかと思うし、槽類については、すでに健全確認してますんで今まだその書類の方とですね、整理できてないんですが、後に実施グループにしております。
0:22:12	以上です。
0:22:15	はい、加来井関です。わかりました。ありがとうございます。
0:22:34	規制庁植田です。
0:22:38	9、9 ペイジーの貯層の中で、
0:22:45	この所、上流側にあるものに、プルトニウム溶液が含まれてると。
0:22:53	そなんか、
0:22:55	どこにあるかってのはちょっとあまり言えないのかもしれませんが、そういうような理解なんですかね。
0:23:04	はい。ちょっと本音を言わせましたけども緑色の線で
0:23:10	示してるところがプルトニウム溶液の流れます。プルトニウム溶液の取り出しの場合には、途中でウランにまぜて、それから掃気することにしております。
0:23:20	ビル側に緑色のポリ領域の流れで、真ん中に流れが売れる。
0:23:26	うん。交わせるらの流れとなっております。それが上手く合わさって右側に高放射性廃系の流れとなっております左側の方が上流側となっております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:37	はいわかりました。
0:23:52	どうぞ。
0:24:02	これよろしいでしょうか。
0:24:07	はい。それではこちらにつきましても引き続きよろしく申し上げます。
0:24:11	続きまして、資料の3のご説明をお願いします。
0:24:17	原子力機構の河口でございます。
0:24:20	11 ページ、資料の3番、衛藤指導分析装置の更新についてご説明させていただきます。
0:24:28	まず概要でございますが、東海再処理施設の分析所におきましては、
0:24:34	施設の維持管理、計量管理保障措置のために、ウランプルトニウムを含む試料の分析を実施してございます。
0:24:42	そのうち、同位体の分析につきましては、質量分析装置を用いて実施しておりますが、
0:24:49	装置が5 経年化したことから、今回更新を予定しているというものになります。
0:24:57	こちら質量分析装置につきましてはフードボックスと呼ばれます。
0:25:04	ボックス形状のものが接続されてございますが、
0:25:08	今回の更新におきましては、従前装置につき、その場で装置につきましては、せえ施行人の申請の対象外として再整理されて、されてきておまして、
0:25:20	土木につきましては施工人の申請対象として認可を終えて構成してきたという経緯がございます。
0:25:28	今回の更新に当たりましては、これまで施工人の対象としてきましたフードボックスにつきましても、
0:25:36	核物質の取り扱い量でありますとか、取り扱い形態等を踏まえて、
0:25:43	施工人の申請が不要な設備と考えられますことから事業者の自治的な管理のもとで更新を進めていきたいと考えておまして、それについてご相談させていただくものとなります。
0:25:58	続きまして2 項、質量分析装置及びフードボックスの概要についてご説明させていただきます。
0:26:08	資料 13 ページの図 1 をご覧ください。
0:26:18	こちらに資料分析装置の外観部を示しております。
0:26:23	質量分析装置での測定の流れといたしましては、こちら、右側の写真に示します、フィラメントと呼ばれる部品の、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:33	こちら写真の丸で囲んでおります、こちらの金属の薄井郡盆状のものが ございますがこちらに無料の大浦またはプルトニウムを塗布して連着焼 きつけをしたこちらの部品を、
0:26:47	こちらのフードボックス内に搬入し、
0:26:51	こちらのボックスの背面のポートから物量分析装置の本体内部に取り付 けて測定を行うというようなものになっております。
0:27:03	こちらのウランやプルトニウムのこのフィラメントの焼きつけ作業等 につきましては、今回更新するフードボックスは別のボックスで実施して ございますので、
0:27:13	今回このフードボックスで行う操作としましてはこのフィラメントをこ ちらのボックス内に搬入してこの質量分析装置の内部に取りつけると。
0:27:23	いう操作が、操作のみということになります。
0:27:32	続きまして、本文 10、
0:27:37	11 ページの方に、筒井の方をご覧ください。
0:27:42	2. 以降、オープンの概要でございます。
0:27:48	質量分析装置につきましては、すいません。すいませんちょっと通し番 号 14 ページの大津写真の方をご覧ください。
0:28:02	こちらに実施今回こちら、図に、左側の写真に示しますものが、今回、 今回更新対象としております資料分析装置になります。
0:28:14	右側の図 3 は今回新たに導入する質量分析装置と同タイプのを写真 で示してございます。
0:28:26	今回更新します。左側の
0:28:30	一つのフードボックスにつきましては、
0:28:33	平成 16 年に認可を受けたものつまり、右側の写真に映してる分析装置 でございますが、こちらのものにリプレースするというものになりま す。
0:28:45	今回更新しますフードボックスにつきましてはこちら右側の写真に示し ます、フードボックスと基本的には同じ構造となります。
0:28:54	で、こちら平成 16 年に認可をいただいて更新したものでございま すが、当時と変わるところといたしましてはこちらフードボックスの全面 パネルにつきましては、
0:29:06	難燃性の当時アクリルを使っておりましたが、難燃性のポリカに変更す るという変更しておりますが、今回更新するフードボックスの基本的 には平成 16 年とそれ以外はすべて同じ構造というものになってござい ます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:29	売ります本文 11 ページの方へ戻っていきます。戻っていただきまして 2.3 項に、
0:29:35	こちら部質量分析装置やフードボックス等が損壊した場合の影響について整理してございます。
0:29:47	初めに、フードボックスまず一つ目でございますが、今回更新いたします。質量分析し、装置の本体内部は非内部が非常に高い進行状態に保たれておりますので、
0:30:01	核物質が外部に漏れ出る恐れはないと。
0:30:04	考えております。
0:30:06	また仮に損壊等により、漏えいを想定した場合におきましてもその量はピコグラムレベルと非常に微量な量となります。
0:30:19	はい。②番。でございますが、負の、こちらのフードボックスで取り扱う資料といたしましては、
0:30:27	フィラメントに核物質を電着焼きつけた固体造の資料のみでありまして、核物質が外部に飛散しがたい形態となっております。
0:30:40	③ですが、取り扱う各部資料につきましては、最大で5掛ける 10 のマイナス 7 乗グラム。
0:30:49	プルトニウム 239 で換算しますと、 1.2×10^{-3} 乗 B q てになりますが、
0:30:56	極めて微量な量であります。
0:30:59	このため損壊等による漏えいを想定した場合におきましても、
0:31:06	一般公衆や従事者の作業被ばくの影響というのは、
0:31:12	空気中の放射性物質濃度といたしましては、こちらの
0:31:17	告示の告示濃度をを十分下回る濃度となりますのでその影響は十分に小さいということになりまして閉じ込め機能といたしましては、建屋と建屋の換気系で確保されるというものでございます。
0:31:33	④です。
0:31:35	フードボックスを大洲含む質量分析装置は、セル換気系のみ接続する構造でございますので、
0:31:45	グローボックス等を他の設備と接続し、するものではございませんので、周辺の安全機能を有する安全機能に対して影響を及ぼすと。
0:31:56	いうものではございません。
0:32:00	はい。続きまして参考、既設設備の協議会における取り扱いについてご説明させていただきます。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:32:09	初めに質量分析装置、今回の許認可の取り扱いについては以下の通りとなっております。
0:32:17	まず、失礼①でございますが、最初に事業シンチ指定申請書におきましては、
0:32:25	分析機器の名称を使用等については記載はございません。
0:32:30	事業指定申請書の中では、分析装置一式という形での記載となっております。
0:32:38	また施工認申請におきましては、主な分析という形で機器名称の記載はございますが、
0:32:47	記載はございます。ただ分析機器自体が日進月歩でメーカーから機器仕様が随時更新されてくるものでございますので、
0:32:58	従来から許認可し、施工人の申請の対象とはしておりません。
0:33:05	また既設の資料分析装置本体も合わせ購入の対象とはしてございません。
0:33:13	また②番でございますが、施行に対象ともしてございませぬので特に使用前検査の検査対象設備というふうにもなっておりませぬ。
0:33:25	続きまして次水道分析装置と接続されるフードボックスの許認可上の取り扱いについては、以下の通りとなっております。
0:33:35	まず、①でございますが、
0:33:38	核物質の取り扱い量が 5×10 のマイナス7乗グラムをさらにして、 1.2×10^{-3} 乗ベクレル程度と。
0:33:48	非常に微量であることから、ヒューマンフードでのプルトニウム取り扱い量、この370キログラムをベクレルから37Bqと。
0:33:57	いうこの基準に照らし合わせまして、
0:34:00	昭和57年、平成16年度行った更新におきましては、
0:34:06	構造的に類似するグローボックスではなくて、フィルムフード相当ということで認可を受けてございます。
0:34:14	②番でございますが、過去の2、認可におきましては使用前検査として外観検査、負圧検査を受検してございます。
0:34:26	また、③番ですが、核物質の漏えいによる環境への影響の観点から、耐震重要度分類につきましてはCクラスと、
0:34:35	としてございます。
0:34:38	④番、再処理運転時における、施設定期自主検査の対象設備ではなく、廃止措置計画におきましては、性能維持施設とはしてございません。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:52	はい。続きまして、4項、講師に伴う協議会の必要性についてでございますが、
0:34:59	質量分析装置本体、及びフードボックスにつきましては、
0:35:05	廃止措置計画におきまして衛生性の維持施設としておらず、
0:35:11	また取り扱う核物質につきましても、微量で、
0:35:15	また非常に飛散しがたい形態をとるものでございます。これは使うという設備でございますので、
0:35:23	損壊による核物質漏えいの影響を評価した結果、閉じ込め機能につきましては、建屋で確保されるということを確認してございます。
0:35:33	このため従来のフードボックスの大瀬公認申請の取り扱いを見直し、
0:35:41	設計及び工事の計画に関わる廃止措置計画の変更認可申請を行わずに、事業者の自主的な管理のもとで工水を進めていきたいというふうに考えてございます。
0:35:56	なお、申請のオオブにかかわらず、
0:35:59	既設フードボックスのの検査でございますが、まず前に行ってきました使用前検査と同等の検査として外観検査、負圧検査等につきましては、
0:36:12	保安規定に基づく品質マネジメント規則類に従って実施品質の方は確保していききたいというふうに考えてございます。
0:36:22	説明は以上でございます。
0:36:27	はい。ご説明ありがとうございました。ただいまの説明につきまして、コメント等ありましたらお願いします。
0:36:40	規制庁の加藤ですけれども、これポイントというか問題になるのは、フードボックスの方、
0:36:49	何か思ってるんですが、
0:36:52	このフードボックスの、
0:36:55	古瀬、廃措置計画の、
0:37:00	変更がいらないとする考え方っていうのは、こないだ別件で、槽類換気系のブローの話だったと思うんですがそれと同じロジックっていうことですかね。
0:37:29	配送数日タグチです。おっしゃられましたように前回ご説明しました槽類換気系の排風機と同様の、その考え方に基づいたものでございます。
0:38:07	はい。すいませんちょっと説明が雑でしたが一つは性能維持施設として現状廃止措置計画に記載されていないこと、あとは

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:21	維持基準規則等を照らしましても、それらに該当するところがないと、 今回であれば閉じ込めの機能については、
0:38:33	装置自体ではなく縦建屋換気系が有しているということでこの装置に は、とじ込み機能は要求されないということで
0:38:44	建設工認の申請は不要かと考えて、考えたものでございます。
0:39:05	規制庁の加藤ですけれども、そういうことでしたら
0:39:10	ご説明いただいたようなそういう関係の資料と、
0:39:18	同じような形で作っていただいて、
0:39:22	それで、それをもって、
0:39:25	またちょっと面談でお示しいただければと思うんですけど、いかがでし ょうか。
0:39:36	今回、
0:39:45	すいません推進室タグチです。ちょっと前回の層理関係の資料等も踏ま えまして
0:39:54	例えば今回の12ページの参考のところ、
0:40:00	だ一層厚じゃないか、12ページの、
0:40:03	※の3のところですか、のところには、被ばくの影響は限りなく小さい ということ等をちょっと
0:40:15	記載しております③のところですかね3、12ページの上のところの③の ところで、環境への影響というものの評価を記載して、
0:40:26	こういったものであるというご説明は、準備に、
0:40:30	含めております。
0:40:34	すいません推進室ナカノです。当然海藻類関係の時には、性能維持施 設、多分許認可不要というところのポイントとして性能維持施設じゃな いってところが多分ポイントになるかと思ってます前回性能維持施 設としてないことの経緯とか、
0:40:49	制度維持施設としないことの妥当性、その一つとしてその影響がないっ ていうところを含めて多分整理させていただきさせていただいたと思いま すのでちょっとそういう、
0:41:00	整理で今回のやつを整理させていただくとそういう理解でよろしいでし ょうか。はいそういう理解で結構です。
0:41:12	はい。ちょっとそういう視点で再度資料の方をまとめ、直させていただ いた上で、ちょっと再度ご説明させていただければと思います。はい。 すいませんよろしくお願いします。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:25	ここの栗崎でちょっと事実関係だけちょっと聞かせてもらっていいですかね。
0:41:32	どうぞ。
0:41:35	すいませんそれではこれ、場所は分析上ですかね。
0:41:41	あと分析上になります。そうですね。これ構造を変え、変えて、耐震はCだっていう話なんですけど。
0:41:49	分析装置本体に何だっけ。
0:41:53	フードボックス乗っけましたよねこれ構造、これ実際大丈夫なんすけどそういったところの評価って何かなされてるんですか。
0:42:02	還流自体はですねフードボックスの課題の方で支える構造になっております。
0:42:10	フードボックスと質量分析装置本体は後頭部で接続されておりますが、
0:42:16	一応両方フードボックスと分析装置を合意した形で、耐震の方は評価して問題ないと。
0:42:23	いうことを評価上確認してございます。
0:42:28	はい、わかりましたありがとうございます。
0:42:37	いかがでしょうか。
0:42:41	よろしければじゃ最後スケジュールのご説明お願いします。
0:42:47	はい。阪神P Cの1社からスケジュールを説明させていただきます15ページになります。現実東京電波のアトラスの尽力状況、あとは
0:42:57	設工認の案件について
0:43:00	相談させていただいておりますが、この飯塚2000程度のペースで連絡を入れさせていただきたいと思っております、さらには10月19日の水曜日をお願いしたいと思っております。
0:43:13	それ以降のスケジュールについてはまだ具体化できておりませんが、
0:43:17	耐震化後の日程等となった段階でいたしております。
0:43:22	ページの方は以上です。
0:43:26	ご説明ありがとうございます。19日ですが、
0:43:35	ちょっと
0:43:36	色の時間で入れられなさそうなので、
0:43:39	またちょっと改めて星さんと日程調整させていただければと思います。
0:43:47	よろしく申し上げます。
0:43:53	これスケジュール関係で何か規制庁わかりますでしょうか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:00	以上になります規制庁から特にないようですけれども現職今日側から何か確認しておきたい点ありますでしょうか。
0:44:10	ディー・エヌ・エーZOAの中川です。よろしいでしょうか。6月30日に申請した分の許認可の状況について、もしさせていただければ、お伺いしたいと思っております、今後
0:44:25	工事等のスケジュールございますので、現状、何か進捗ありましたら教えていただきたいなと思っております。
0:44:35	現状ですね10月中に何とか認可できるようにということで進めているところです。
0:44:43	はい。特に今のところ、何かプロセスの中で、例えば補正が必要だとか、そういった話には今となってないです。
0:44:56	わかりましたありがとうございます。
0:44:59	はい。他よろしいでしょうか。
0:45:03	一応希望から以上になります。はい、じゃあ本日の面談これ終了したと思いますどうもありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。